

河合町

【2020年度改訂版】

街再生総合戦略

平成28年3月

 奈良県 河合町



河合町
あな丸^{まる}
河合町イメージキャラクター



目 次

第1章 基本的考え方	1
1 計画の位置づけ.....	1
2 計画期間	1
3 戦略の位置づけ（「河合のまちの夢ビジョン」との関係）	1
第2章 将来の方向性	2
1 目指すべき将来の方向性	2
2 河合町街再生のイメージ	3
第3章 目標	4
1 5つの目標	4
2 街再生総合戦略の体系	5
第4章 目標に基づく施策	7
目標1 活気 —活気のある河合町になって欲しい—	7
(1) 目指す将来像.....	7
(2) 数値目標.....	7
(3) 重点施策項目	7
(4) 重点施策概要	10
(5) その他の施策例	15
目標2 絆 —絆でつながる河合町になって欲しい—	16
(1) 目指す将来像.....	16
(2) 数値目標.....	16
(3) 重点施策項目	16
(4) 重点施策概要	18
(5) その他の施策例	21



目標3 誇り —誇りを持てる河合町になって欲しい—	22
(1) 目指す将来像	22
(2) 数値目標	22
(3) 重点施策項目	22
(4) 重点施策概要	24
(5) その他の施策例	27
目標4 魅力 —魅力が光る河合町になって欲しい—	29
(1) 目指す将来像	29
(2) 数値目標	29
(3) 重点施策項目	29
(4) 重点施策概要	30
(5) その他の施策例	35
目標5 自立 —地域主権確立のために—	36
(1) 目指す将来像	36
(2) 数値目標	36
(3) 重点施策項目	36
(4) 重点施策概要	38
(5) その他の施策例	40
第5章 検証	41



第1章 基本的考え方

1 計画の位置づけ

わが国は、平成 20 年の約 1 億 2,800 万人をピークに本格的な人口減少時代に入り、急速な少子高齢化を背景とする長期的な人口減少に歯止めをかけるため、平成 72 年（2060 年）の総人口推計値 8,700 万人を 1 億人程度に留めることを目標とした、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を定めました。

奈良県は、1960 年代後半から人口増加が続き、平成 11 年にピークの 144 万人に達して以降、減少に転じ、平成 28 年現在約 135.7 万人となっています。

河合町は、大阪都心部への通勤圏にあり、旧集落と新興住宅地（西大和ニュータウン）が混在する“田園都市”ですが、平成 9 年（1997 年）をピークに人口が減少傾向にあり、平成 27 年時点で年少人口割合が 10.9%、高齢化率は 34.7%という超高齢社会に突入しています。

本町では、このような状況を早くから認識しており、平成 26 年 6 月に**パナソニックホームズ株式会社**と連携協定を結び、国が地方創生策を打ち出す前から、人口減少、少子高齢化、空き家の増加等に対する取組を進めてきました。こうした取組は、平成 27 年 1 月に、国土交通省の「住宅団地既存住宅流通促進モデル事業」に採択され、持続的に活力ある街としていくための事業を進めています。

「河合町街再生総合戦略」は、こうした活動を礎に、将来展望の実現に向けて、これまでと違った視点で、直近 5 年間（※）の人口減少対策のための重点的な戦略を取りまとめたものです。

（※）これまでの取組みを踏襲し、次期総合戦略に反映させていくため、以下、「令和 2 年度までの計画期間の内容」と読み替える

2 計画期間

本戦略の計画期間は、国・県の総合戦略との整合を図るため、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間とします。

3 戦略の位置づけ（「河合のまちの夢ビジョン」との関係）

本戦略は、国の総合戦略を勘案し、地方自治体において実施していくための「地方版総合戦略」に該当します。

また、本町では、国の地方創生対策より前の平成 23 年から人口減少対策も含めた町の活性化のための長期ビジョン「河合のまちの夢ビジョン」を作成しており、町民との意見交換の中から様々な提案を得て、随時修正などを加え進化させています。

そのため、人口減少対策についての方向性の素地は既にできていることから、街再生総合戦略でも、具体的な「目標」は、夢ビジョンの 5 つの『目標（想い）』（活気・絆・誇り・魅力・自立）に合わせたものとします。





第2章 将来の方向性

人口の急激な減少は、町民生活、地域経済、財政運営に大きな影響を及ぼすため、この総合戦略は人口動向、町の産業・地勢の実情、町民との懇談会やアンケート調査結果等を踏まえ、将来の方向性を示します。



1 目指すべき将来の方向性

本町は、1960年代後半から西大和ニュータウンの開発により、人口が増加し、平成9年（1997年）には人口2万人を超える町となりましたが、その後町民の高齢化や転出の増加により、現在ではピーク時に比べ2千人余り減少しています。

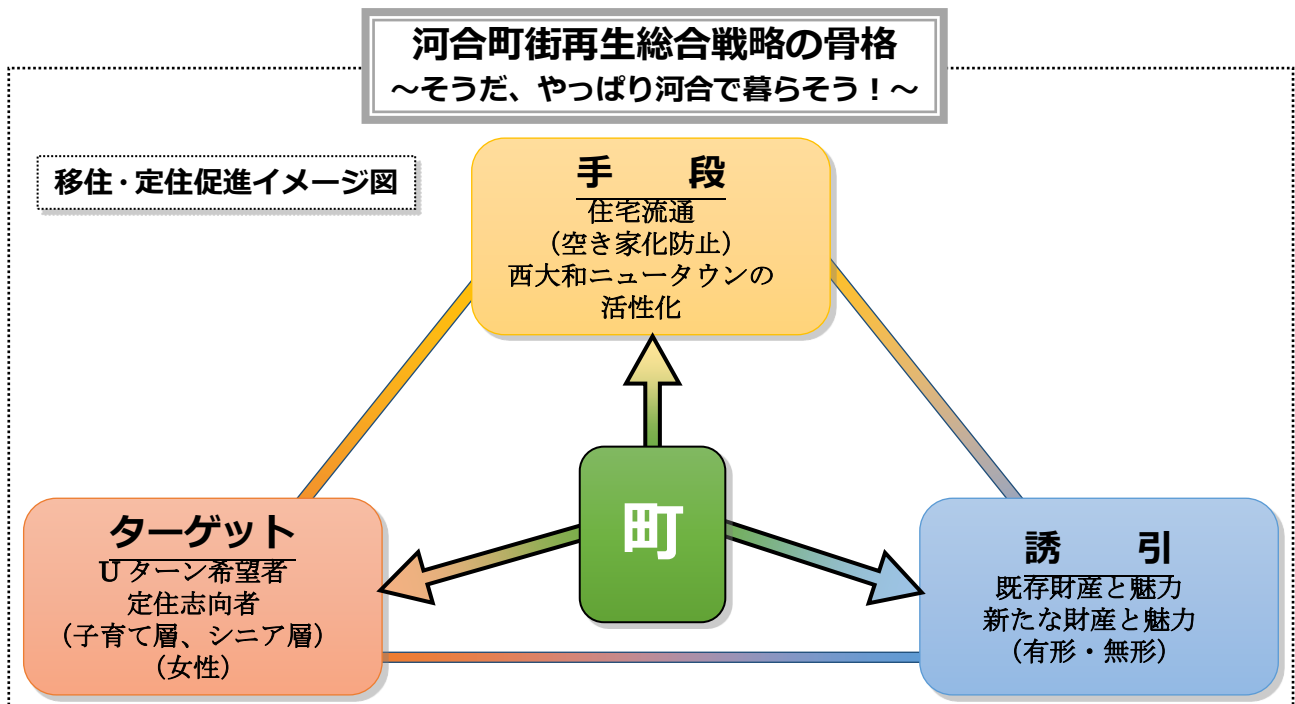
人口動態の特徴として、若者世代の流出が激しい一方で、その他の世代の定住率は高く、この傾向は西大和ニュータウンで顕著に見られます。



アンケート結果でも推測できるように、町外転出者は河合町の住みやすさを認識しているものの、就職や結婚などのライフイベントによって、町外へ転出していると言えます。

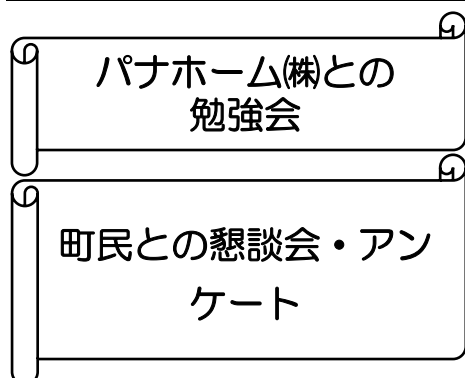
このような傾向は、高齢化を招くと同時に、高齢者単独世帯の増加、空き家の増加など招くこととなります。

そこで、本町では、この現状を踏まえて、河合町の魅力（底力）を前面に押し出し、移住と定住を促進する戦略を展開することとします。なお、引っ越しの可能性がある子育て世代とシニア世代をターゲットの中心に置き、かつ、女性目線も念頭に置いていきます。【下記イメージ図参考】



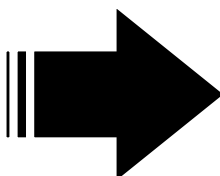
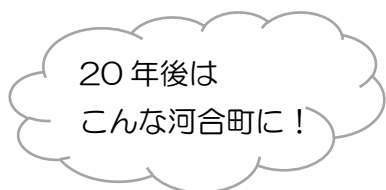


2 河合町街再生のイメージ



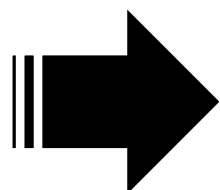
河合のまちの夢ビジョン

～快適で住みよい
「心の田舎」づくり～



街再生総合戦略

5年間で人口減少対策として効果がある政策を中心に



夢ビジョン事業例

上記以外で夢ビジョンの事業例としてあげられる政策

第3章 目標



5カ年の人口減少対策である街再生総合戦略は、本町の長期ビジョンである夢ビジョンに沿って策定するものであることから、総合戦略の目標は下記の夢ビジョンの5つの『目標（想い）』とします。

街再生総合戦略は、本町の持つポテンシャルを活かして人口減少対策の戦略を定めていきます。

1 5つの目標

目標1

活気

活気のある河合町になって欲しい



目標2

絆

絆でつながる河合町になって欲しい



目標3

誇り

誇りを持てる河合町になって欲しい



目標4

魅力

魅力が光る河合町になって欲しい



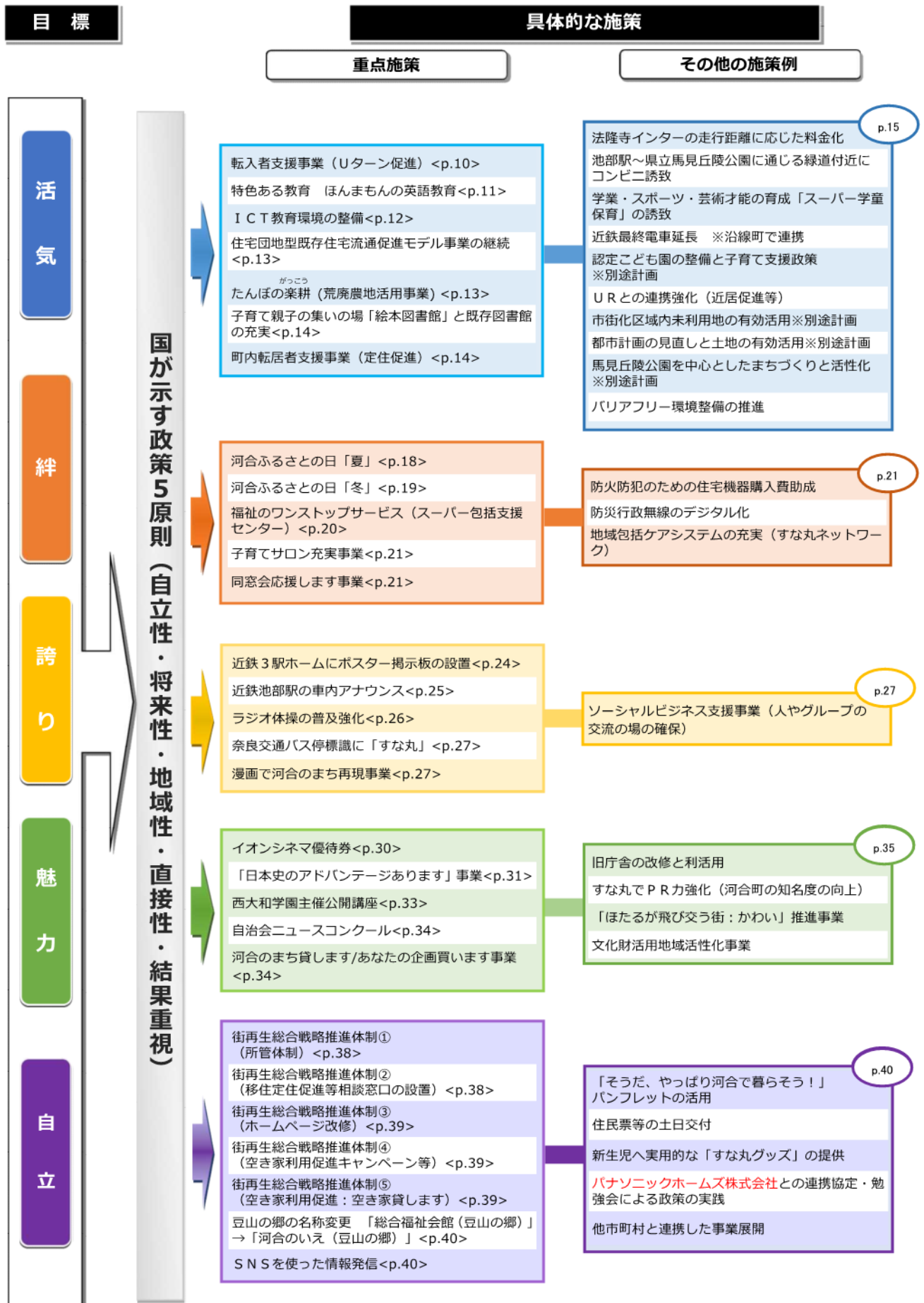
目標5

自立

地域主権確立のために



2 街再生総合戦略の体系





そうだ、やっぱり
河合で暮らそう！





第4章 目標に基づく施策

目標 1 活気 —活気のある河合町になって欲しい—

(1) 目指す将来像

わたしたちのまちは、古墳時代から先人たちの暮らしが営まれた地として、歴史と伝統を継承する集落及びその周辺の農地や緑豊かな丘陵に囲まれています。また、1960年代後半から開発された西大和ニュータウンを中心とする住宅地が形成されています。

わたしたちのまちは、良好な住宅地とそれに付随する生活関連機能がコンパクトに配備され、「大型商業施設」「商業、飲食サービス業」「生活関連サービス業・娯楽業」といった都市型の生活機能が集積しています。

また、開業医などの身近な医療・福祉機能も整備されています。

さらに、イオンシネマなど、若い世代を呼び込む娯楽施設が立地しているほか、県立馬見丘陵公園が整備されているなど、多世代のニーズに 대응することができ、周辺地域から人々を呼び込むポテンシャルを備えています。

今後、少子化対策を含め、人口減少対策を推進するために、こうした潜在的な立地特性をクローズアップして街再生を展開します。



(2) 数値目標

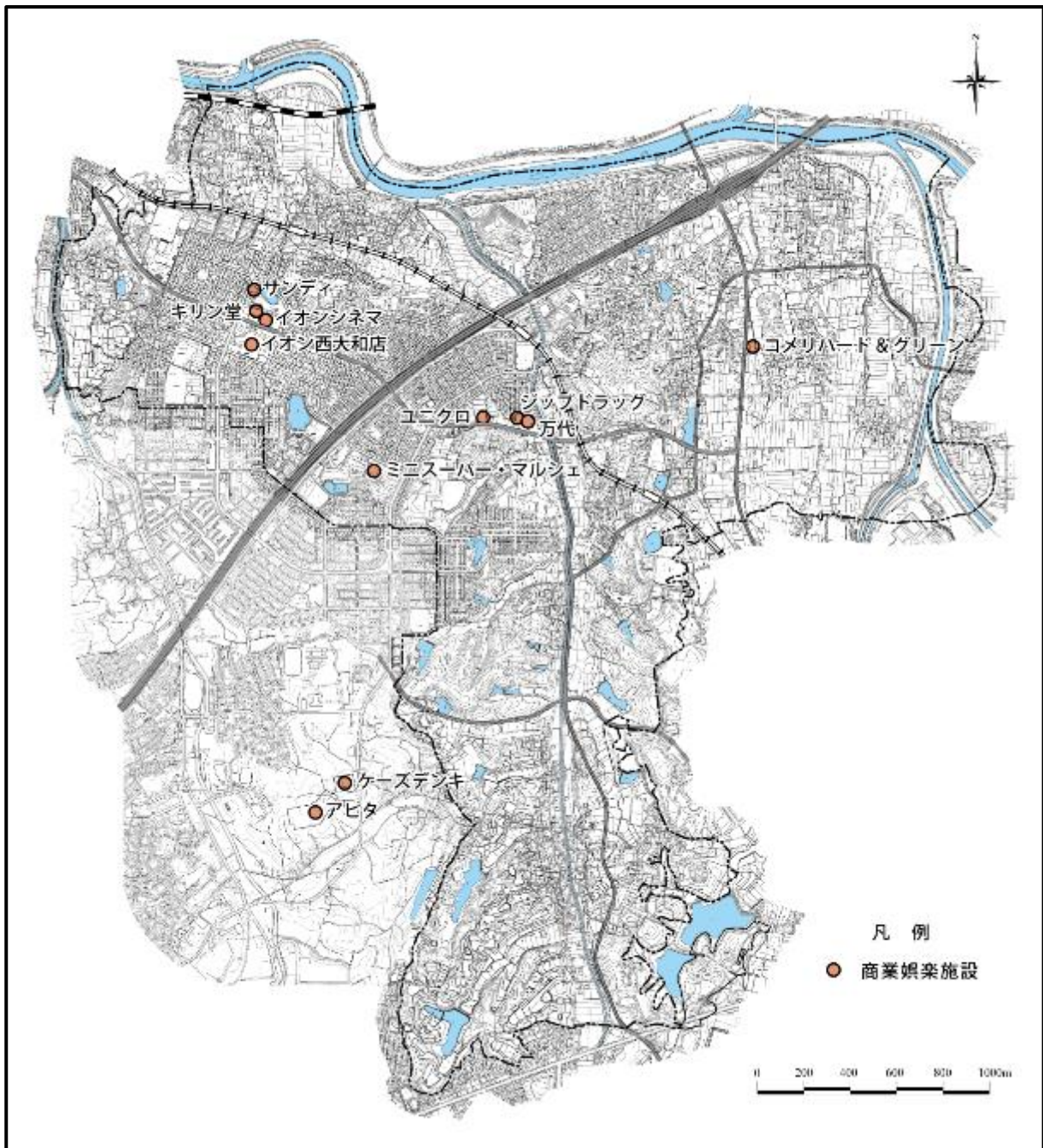
指標項目	基準値	目標値
社会増減 (転入転出数の差)	△73人(H25)/年	0人(R2)/年

(3) 重点施策項目

- ア 転入者支援事業（Uターン促進）
- イ 特色ある教育 ほんまものの英語教育
- ウ ICT教育環境の整備
- エ 住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業の継続
- オ たんぼの楽耕（がっこう 荒廃農地活用事業）
- カ 子育て親子の集いの場「絵本図書館」と既存図書館の充実
- キ 町内転居者支援事業（定住促進）



● 商業・娯楽施設の状況



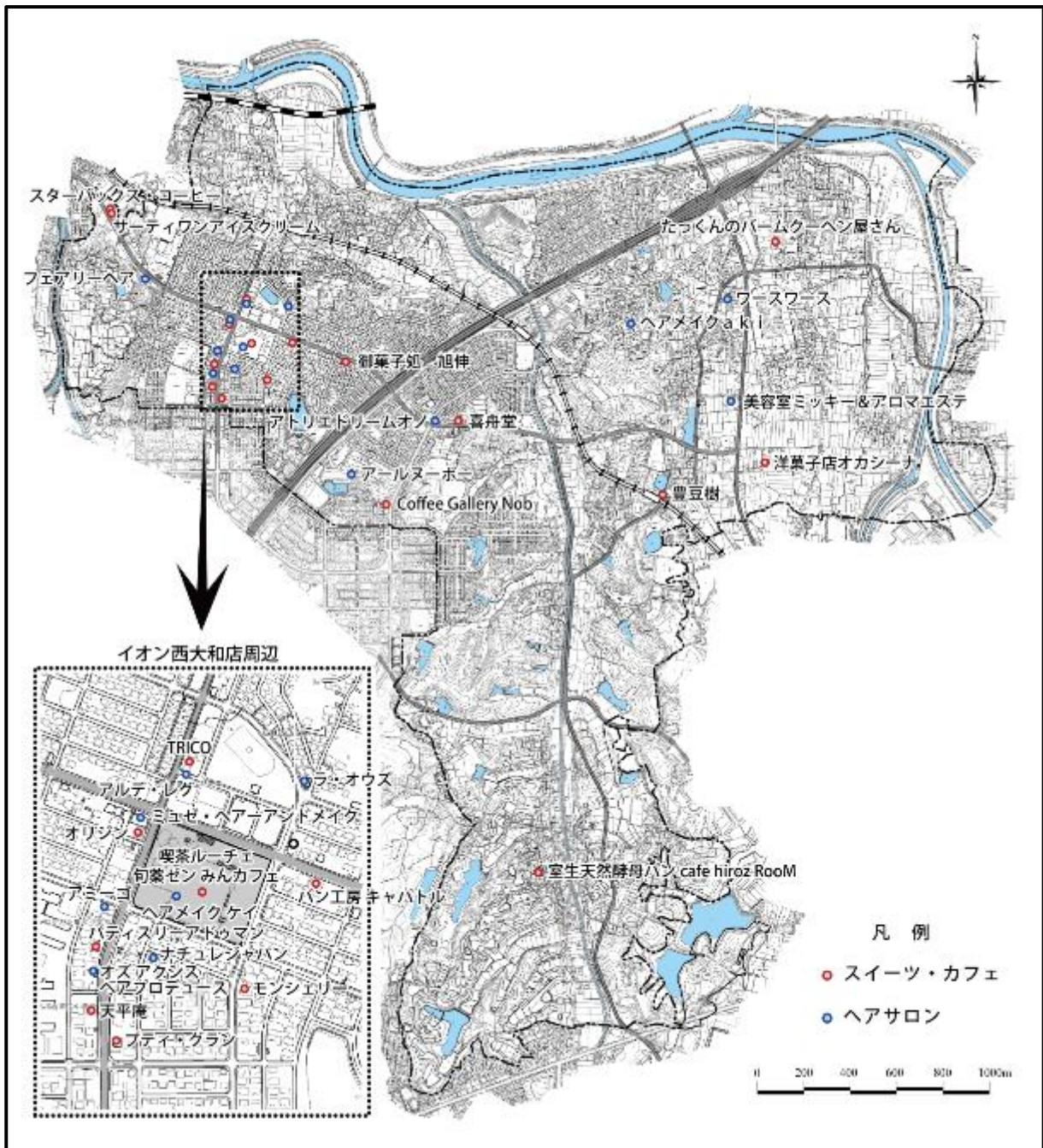
※インターネット調べにより、施設位置を記載しました。

生活関連機能が
コンパクトに配備





● スイーツ・カフェ店、ヘアサロンの状況



※インターネット調べにより、施設位置を記載しました。

特に女性が
利用する施設も充実





(4) 重点施策概要

ア 転入者支援事業（Uターン促進）

転入者に対して一定期間支援を行い、社会流動による人口増加を促します。
さらに、近居、同居の場合は支援を加算し、Uターンを促進します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
転入者数	527人（H26）/年	600人（R2）/年

KPI（Key Performance Indicator）とは、施策ごとの目標の達成度合いを計る定量的な指標のこと

転入者に対して
一定期間支援



近居、同居の場合
は支援を加算



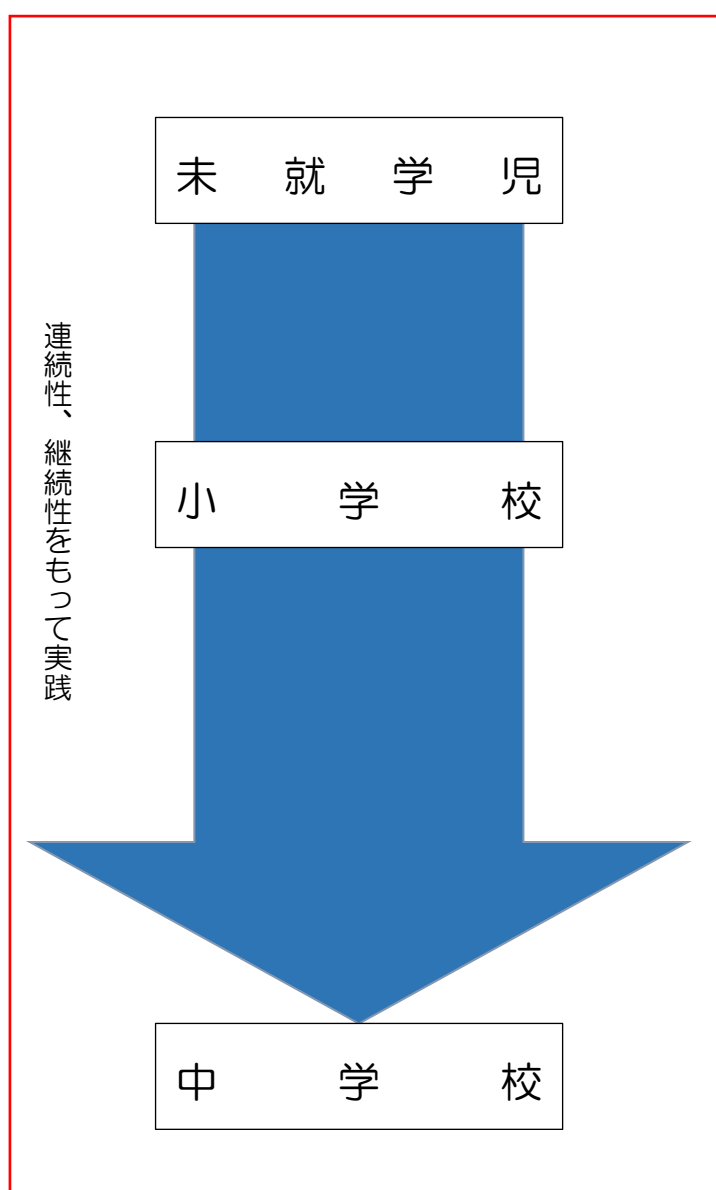


イ 特色ある教育 ほんまもんの英語教育

特色ある教育の一つとして、語学教育を進めていきます。

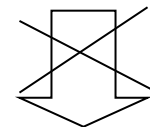
「体で覚える英語」、「This is a pen.」を日本語に訳さないで理解できる英語教育を、就学前から義務教育を終える中学校までの児童生徒を対象に、連続性、継続性をもって実践していきます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
小学校における「ほんまもんの英語」 授業と実施学年	—	1年から4年の 各クラス (R2)



「これはペンです。」と
訳すことなく理解でき
る英語教育

これはペンです。



This is a pen.





ウ ICT教育環境の整備

グローバル化が進む中で、時代を担う若者たちが国際社会で活躍し、生き抜く力としてICTを活用した教育は重要で、時間、空間的な距離を超えた「情報の共有化」など、ICTの積極的な活用により革新的な教育を推進していきます。

このため、ICT教育環境を整え指導者を配置するとともに、学校の授業だけでなく、放課後、自宅など様々な「学びの場」を提供できる環境づくりを進めていきます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
「自分で課題を立てて調べたことを発表する学習に取り組んでいるか」の項目の「どちらかといえば当てはまる」以上の割合	59.2% (H27)	80% (R2)
「コンピュータ等を利用して子ども同士が教え合い学び合う学習や課題発見・解決型の指導を行ったか」の項目の「どちらかといえば行った」以上の割合	33% (H27)	100% (R2)

※上記は学力状況調査（小学校）から

グローバル化に対応



ICTの積極的な活用





エ 住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業の継続

空家の利活用による転入や定住を図るためパナソニックホームズ株式会社のモデル事業（売買や賃貸に対するリフォーム費用の支援）を町全体に広げていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
空家の売買と賃貸戸数（総数） （パナソニックホームズ株式会社調べ）	5戸（H27）/年	20戸（R2）/年



オ たんぼの楽耕^{がっこう}（荒廃農地活用事業）

町内の遊休農地を活用し、土に触れて農業体験活動を行える場として、荒廃農地を利活用し、新規就農者を育成することで、荒廃農地の解消を図るとともに、町民交流と生きがい対策の場として提供します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
交流・参加者	33人（H27）	65人（R2）





カ 子育て親子の集いの場「絵本図書館」と既存図書館の充実



出産を控えた母親、乳幼児を育てている方を対象とした育児書や絵本等の関連図書を整備し、これらの方々が気軽に集い交流できる場として、豆山の郷に絵本図書館を設ける。併せて、子育てを経験されたシニア層が参画することで交流だけでなく相談できる場とする。

既存図書館においては、赤ちゃん絵本講座や絵本読み聞かせ会等を開催し、両施設の機能・役割分担で子育て層が孤立することなく意欲的に子育てに勤しむための環境を整えるほか、児童生徒を始め若者世代が訪れたいと思える環境を整えます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
絵本図書館利用者	—	1,500人 (R2) /年
既存図書館利用者	23,015人 (H26) /年	27,600人 (R2) /年

キ 町内転居者支援事業（定住促進）

町内定住を促進するために、町内における住み替え（新築）に対する支援を行います。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
転出者数	618人 (H26) /年	600人 (R2) /年



町内定住促進



(5) その他の施策例

- ア 法隆寺インターの走行距離に応じた料金化
- イ 池部駅～県立馬見丘陵公園に通じる緑道付近にコンビニ誘致
- ウ 学業・スポーツ・芸術才能の育成「スーパー学童保育」の誘致
- エ 近鉄最終電車延長 ※沿線町で連携
- オ 認定こども園の整備と子育て支援政策 ※別途計画
- カ URとの連携強化（近居促進等）
- キ 市街化区域内未利用地の有効活用 ※別途計画
- ク 都市計画の見直しと土地の有効活用 ※別途計画
- ケ 馬見丘陵公園を中心としたまちづくりと活性化 ※別途計画
- コ バリアフリー環境の整備



目標２ 絆 ―絆でつながる河合町になって欲しい―

(1) 目指す将来像

わたしたちのまちは、人口増加の時代から減少基調に転換するとともに、少子高齢化が進んでいます。

これは、わが国の大きな流れでもあり、今後さらなる少子高齢化が進むと考えられます。

わたしたちのまちでは、こうした社会環境に対応して、すべての世代の人々が住みよい街づくりを進め、多世代が集い暮らすコミュニティを再生していきます。

鉄道やバスなどの幹線交通へのアクセス性が高く、開業医や歯科医などの身近な医療施設が多く、大規模公園が整備されるなど、コンパクトシティとしての基盤が整ったわたしたちのまちは、住みやすい環境の町でもあります。

また、退職後の人生を謳歌するために、この町に移住し、暮らしていくための受け皿となるコミュニティが存在するなど、国が求めているCCRC（コンティニューイング・ケア・リタイヤメント・コミュニティ）の条件を備えていることにも着目し、多様な世代が暮らしやすい町を目指します。



(2) 数値目標

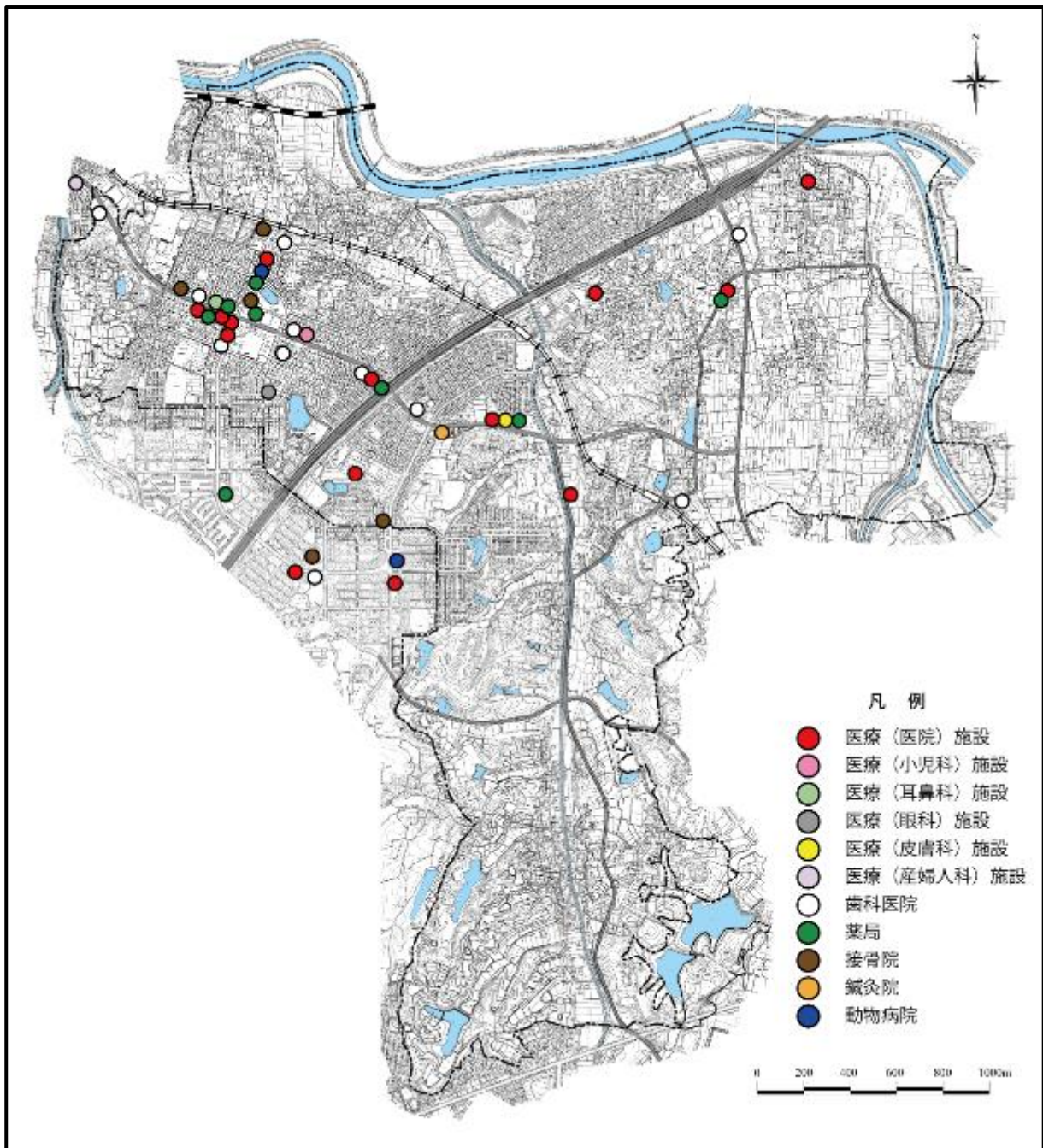
指標項目	基準値	目標値
自治会加入率	90% (H27)	95% (R2)

(3) 重点施策項目

- ア 河合ふるさとの日「夏」
- イ 河合ふるさとの日「冬」
- ウ 福祉のワンストップサービス（スーパー包括支援センター）
- エ 子育てサロン充実事業
- オ 同窓会応援します事業



● 医療施設等の状況



※インターネット調べにより、施設位置を記載しました。

身近な医療施設が充実





(4) 重点施策概要

ア 河合ふるさとの日「夏」



これまでは、8月第3土曜日を「河合ふるさとの日」と定め、河合町ふるさと祭りをメインに、町民プール・総合福祉会館「豆山の郷」の浴場を無料開放し、豆山の郷夏休みこども祭りを同時に開催してきました。

これを、転出した第2世代と「外孫」の帰省の時期に合わせてお盆の時期に固定開催し、更に充実するために内容を検討し、集客を図るとともに、町から離れて暮らす人々が町の魅力を再認識する場とし、ふるさと回帰の契機と移住・定住を促進します。

検討・企画・実施にあたっては官民が一体となって取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
河合ふるさとの日イベント参加者数	約 3,000 人 (H27)	約 3,600 人 (R2)



豆山の郷夏休みこども祭り



河合町ふるさと祭り



かわい燈花会

“絆”

“今も河合町、
いつまでも河合町”



イ 河合ふるさとの日「冬」

新たに、「冬」にも『河合ふるさとの日「夏」』と同趣旨のイベントを実施し、移住・定住を促進する機会としていきます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
来場者数	—	約 3,000 人 (R2)

イメージ





ウ 福祉のワンストップサービス（スーパー包括支援センター）

地域包括支援センターは、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、町民の健康や生活の安定のために必要な援助を行う場です。

福祉のワンストップサービスは、包括支援センターの業務を拡充し、福祉に関わる様々な相談や手続きなどについてワンストップで対応するものです。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
相談件数	285件（H26）/年	800件（R2）/年





エ 子育てサロン充実事業

子育てサロンは、育児に悩み孤立することのないよう、サロン活動をとおして、育児・健康に関する情報の共有や交流を図る場として充実を図っていきます。また、育児や子育てを終えた世代の知恵などを役立てるために、多様な世代が気軽に参加できる場、活気のある子育て支援の場をつくっていきます。


重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
参加者数	—	260人 (R2) /年

オ 同窓会応援します事業

町内の小中高校の同窓会の開催を促し、これを支援します。特に中学校の「30歳同窓会」の開催を積極的に支援し、ふるさと回帰の契機と移住・定住を考えるきっかけづくりとしていきます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
応援支援利用者数	2件 (H26) /年	6件 (R2) /年



 平成9年度河合第二中学校卒業生
生誕30周年記念パーティー 河合町HPより

(5) その他の施策例

- ア 防火防犯のための住宅機器購入費助成
- イ 防災行政無線のデジタル化
- ウ 地域包括ケアシステムの充実（すな丸ネットワーク）



目標3 誇り —誇りを持てる河合町になって欲しい—

(1) 目指す将来像

わたしたちのまち、そしてその周辺には豊富な歴史・文化資源があり、伝統的な家並の集落が残されています。

また生活をする上で、便利で快適な都市機能が整っており、「都市機能を有する田舎」として魅力あふれる町です。

わたしたちのまちで育つ人々が、河合町を誇りに思い、このまちに住んでいることに喜びを感じられるまちづくりを進めていきます。



(2) 数値目標

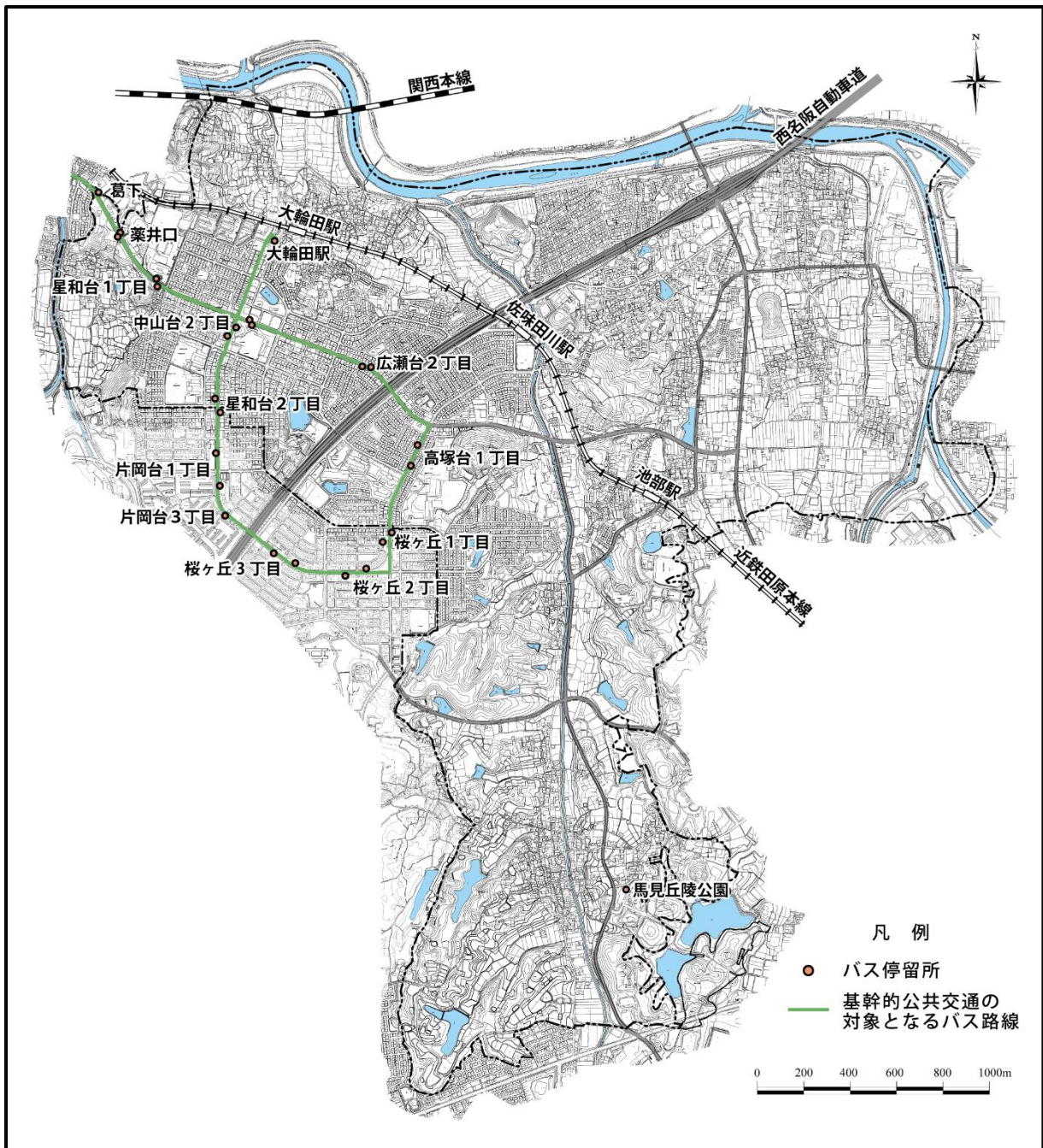
指標項目	基準値	目標値
河合町に住み続けたい人の割合 (街再生に関するアンケート結果)	76% (H27)	80% (R2)

(3) 重点施策項目

- ア 近鉄3駅ホームにポスター掲示板の設置
- イ 近鉄池部駅の車内アナウンス
- ウ ラジオ体操の普及強化
- エ 奈良交通バス停標識に「すな丸」
- オ 漫画で河合のまち再現事業



● 公共交通網の状況



※インターネット調べにより、施設位置を記載しました。

交通の利便性





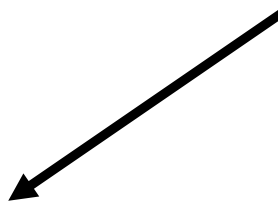
(4) 重点施策概要

ア 近鉄3駅ホームにポスター掲示板の設置

町内の近鉄田原本線の3駅舎にポスター掲示板を設置し、鉄道を利用する町内外の人々にわが町のPRを継続的にを行います。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
ポスター掲示内容 (種類) 数	—	24 種類 (R2) /年

例





イ 近鉄池部駅の車内アナウンス

近鉄池部駅において、到着時のアナウンスを工夫し、利用客に対し池部駅の認知を促し、より多くの利用を促進することで、活気と駅周辺の活性化を進める一助とします。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
馬見丘陵公園を訪れるための近鉄池部駅利用者割合 (イベント開催時)	8.1% (H27)	10.0% (R2)



**池部、
馬見丘陵公園
でございます。**



緑道



馬見チューリップフェア



県立馬見丘陵公園



馬見菖蒲まつり





ウ ラジオ体操の普及強化

早朝のラジオ体操を地域のコミュニティ活動としてとらえ、今後とも町内各地での実施を継続し、ラジオ体操の普及に努めます。

これは、健康志向の高い河合町民の特徴をとらえた施策で健康維持増進のほか、子どもの規範意識の醸成も期待できます。

また、高齢化する地域社会において、毎朝の出会い、ちょっとした会話を交わすことで、安否確認や見守り活動にもつながります。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
開催場所	4ヶ所（H26）	各小学校区で2か所以上（R2）



健康維持増進
子どもの規範意識の醸成





エ 奈良交通バス停標識に「すな丸」

町内のバス停留所の標識に河合町キャラクターの「すな丸」を表示するなど、積極的に「ここは河合町」であることをPRしていきます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
町民のすな丸の認知度	—	75% (R2)

オ 漫画で河合のまち再現事業

ストーリー性を持った漫画を用いて、自分が生まれ育った地域の「昔」に興味を持ってもらう契機とし、地元への愛着を深め定住を図ります。また、子どもたちの歴史的思考力を育みます。

※平成 25 年度に取り組んだ街並み再現事業（川合市場）を舞台とします。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
事業の広がり	1 地区 (H27)	3 地区 (R2)



川合市場の街並み再現



河合町 HP より



現在の川合市場の街並み

(5) その他の施策例

ア ソーシャルビジネス支援事業（人やグループの交流の場の確保）



昭和初期の川合市場は大和川を利用した商業地域で、メイン通りには沢山のお店が並び
今で言うショッピングモールのような地域でした。

川合市場の街並み再現 ～昭和初期(昭和8年)～

当時の出来事

【世界】

- ・ヒトラーが独首相就任
- ・フランクリンルーズベルトがニューディール政策実施
- ・メジャーリーグ初のオールスターゲーム開催
- ・キューバでパティスタが軍事クーデターを起こす

【日本】

- ・国際連盟脱退
- ・現(平成)天皇陛下誕生

【河合町】

- ・「川合城主吉田山城守義辰并一族墓」碑建立
(穴間に石碑があります)

当時の川合市場の様子

・南北に走るメイン通りには、お菓子屋や、小料理屋が立ち並んでおり、子どもの数が多かったことや、仕事の後の楽しみの場があり活気がありました。

・旅館があったことで、地方から仕事や、旅行で来られていた方がいて、賑わっていました。

・道は砂利道で常に歩いて行動していました。

・当時の人々は、そこに住んでいる人々が互いに家族のような存在で、他人の子供でも悪いことをすれば怒るし、困っている人がいれば、進んで話しかけるような環境でした。

・産気づいた人がいる家庭では、道行く人に産婆さんと呼んでくれるよう頼むこともありました。

備考

・赤で示した通りのお店などを中心に再現しています。

・水色部分が当時、お店などをしていたところです。

・この地図は、皆さんがイメージしやすいように、現在の川合市場地区の地図を基に作成しております。

・大正10年生まれの川合市場在住の方から聞き取りをしました。

(注1)
百貨店とありますが、現在で言うところのコンビニエンスストアのような販売店です。

(注2)
大阪湾と奈良盆地を結ぶ重要な交通路であった大和川沿いには、御幸ヶ瀬(ここがせ)と呼ばれる船着き場(現在の御幸橋付近)がありました。多くの物資や人が行き交うこの場所が、多に賑わったことから「市場」と呼ばれるようになりました。

(注3)
当時は、牛を引かせて田畑を耕す方法であったため、その牛の賃貸業です。

(注4)
月に1度この場所です。今で言う、フリーマーケットのような、催し物がありました。



目標4 魅力 —魅力が光る河合町になって欲しい—

(1) 目指す将来像

わたしたちのまちには、幼児保育教育施設から小学校、中学校、高等学校などの教育施設が整備され、質の高い教育環境が確立されています。

その他にも他市町村にない質の高い居住環境が整っています。

この魅力を強く発信し続け、Uターンだけでなく、将来のIターンやJターンによる移住・転入を促進していきます。



(2) 数値目標

指標項目	基準値	目標値
夢ビジョン事業例の達成数	27 事業 (H27)	100 事業 (R2)

(3) 重点施策項目

- ア イオンシネマ優待券
- イ 「日本史のアドバンテージあります」事業
- ウ 西大和学園主催公開講座
- エ 自治会ニュースコンクール
- オ 河合のまち貸します/あなたの企画買います事業



(4) 重点施策概要

ア イオンシネマ優待券

イオンシネマ西大和は、周辺地域からも多数の利用者があるシネマコンプレックスとして、町民に親しまれています。

こうした不特定多数の人々が参集する娯楽施設が立地している強みを活かし、町民に対してもさらなる利用を促すことで、町民の文化思考力と家族や仲間の絆を育み、賑わいも創出し、街の魅力を高めていきます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
町民のイオンシネマ来場者数	24,000 人 (H26) /年	39,600 人 (R2) /年



イオンシネマ西大和

奈良県下でも数少ない
シネマコンプレックス
が河合町にある！！



シネマコンプレックスとは、同一の施設に複数のスクリーンがある映画館のことです。





イ 「日本史のアドバンテージあります」事業

河合町は、奈良県平野部のほぼ中央部、いわば“へそ”の位置に立地し、法隆寺インター～京奈和道、国道 24 号線を利用して、短時間で奈良県の歴史遺産に到着することができます。

河合町に住むことで、古墳時代～大和王権の成立～平城京の築造を気軽・手軽にたどることができ、日本史の教科書の上を歩くあるいは住んでいるような体感を得ることができ、奈良県の歴史遺産を“町の財産”と捉えることができます。

また、こうした立地条件を前面に押し出し、イベントの企画や空き家を活用したおためし入居なども実施し、河合町の魅力をPRしていくことで、移住者の確保につなげることが期待できます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
該当事業のPRによるイベント等の参加者数	—	200人 (R2)





日本史の教科書の上を歩くような体感

平城京跡 朱雀門
平城京跡 大極殿
平城京跡 大極殿
平城京跡

唐招提寺
唐招提寺
唐招提寺

薬師寺
薬師寺
薬師寺

法隆寺
法隆寺
法隆寺

ナガレ山古墳
ナガレ山古墳
ナガレ山古墳

当麻寺 三重塔
当麻寺 三重塔
当麻寺 三重塔

神武天皇陵
神武天皇陵
神武天皇陵

天武・持統天皇陵
天武・持統天皇陵
天武・持統天皇陵

藤原宮跡
藤原宮跡
藤原宮跡

高松塚古墳
高松塚古墳
高松塚古墳

伝板蓋宮跡
伝板蓋宮跡
伝板蓋宮跡

石舞台古墳
石舞台古墳
石舞台古墳

東大寺
春日大社
元興寺
東大寺大仏
春日大社
三輪神社
酒船石
長谷寺

河合町
奈良県



ウ 西大和学園主催公開講座

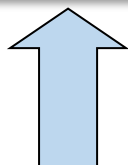
町内にある全国的に知られる進学校、西大和学園主催の公開講座を町が後援し、また、小学生・保護者を対象としたテーマの町主催の学習講座に西大和学園の教師を招くなど、西大和学園と連携し、町と学園がともに発展するよう、互いにサポートします。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
西大和学園の教師による講座実施回数	—	5回 (R2) /年

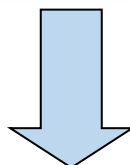


河合町役場

西大和学園と連携し、
町と学園がともに発展



SUPPORT



西大和学園



エ 自治会ニュースコンクール

自治会ニュース、自治会新聞は地域の住民をつなぐ重要なツールです。平成 23 年度から河合町在住者が中心となって始めた本コンクールは、多方面からの支援を受け奈良県全域を対象とする規模に発展しました。

この河合ブランドを今後も積極的に支援していきます。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
参加自治会数	29 団体 (H26)	60 団体 (R2)



自治会ニュースコンクール表彰式

オ 河合のまち貸します/あなたの企画買います事業

若者が町内で企画するイベントに対し公共施設を無償で貸し出す制度はマスコミからも高い評価を受けました。今後もこの制度を更に充実させ、若者が河合を知る、河合に来る機会とします。

さらにユニークな企画については費用の一部を支援します。

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値
採択事業数	3 件 (H26)	6 件 (R2)



企画買います採択事業 (ウォーターガンバトル)



(5) その他の施策例

- ア 旧庁舎の改修と利活用
- イ すな丸でPR力強化（河合町の知名度向上）
- ウ 「ほたるが飛び交う街：かわい」推進事業
- エ 文化財活用地域活性化事業



目標5 自立 —地域主権確立のために—

(1) 目指す将来像

まちのあり方について町民一人ひとりが自ら考え、主体的に行動していくことは極めて重要なことです。

わたしたちのまちは、この町に住む住民が責任を持って課題に対処し、解決していくことで、自立した地域社会を目指しています。

そのため、町民と行政が対等なパートナーシップの関係を確保し、町民と行政が主体的かつ総合的に地域の諸課題に取り組んでいきます。



(2) 数値目標

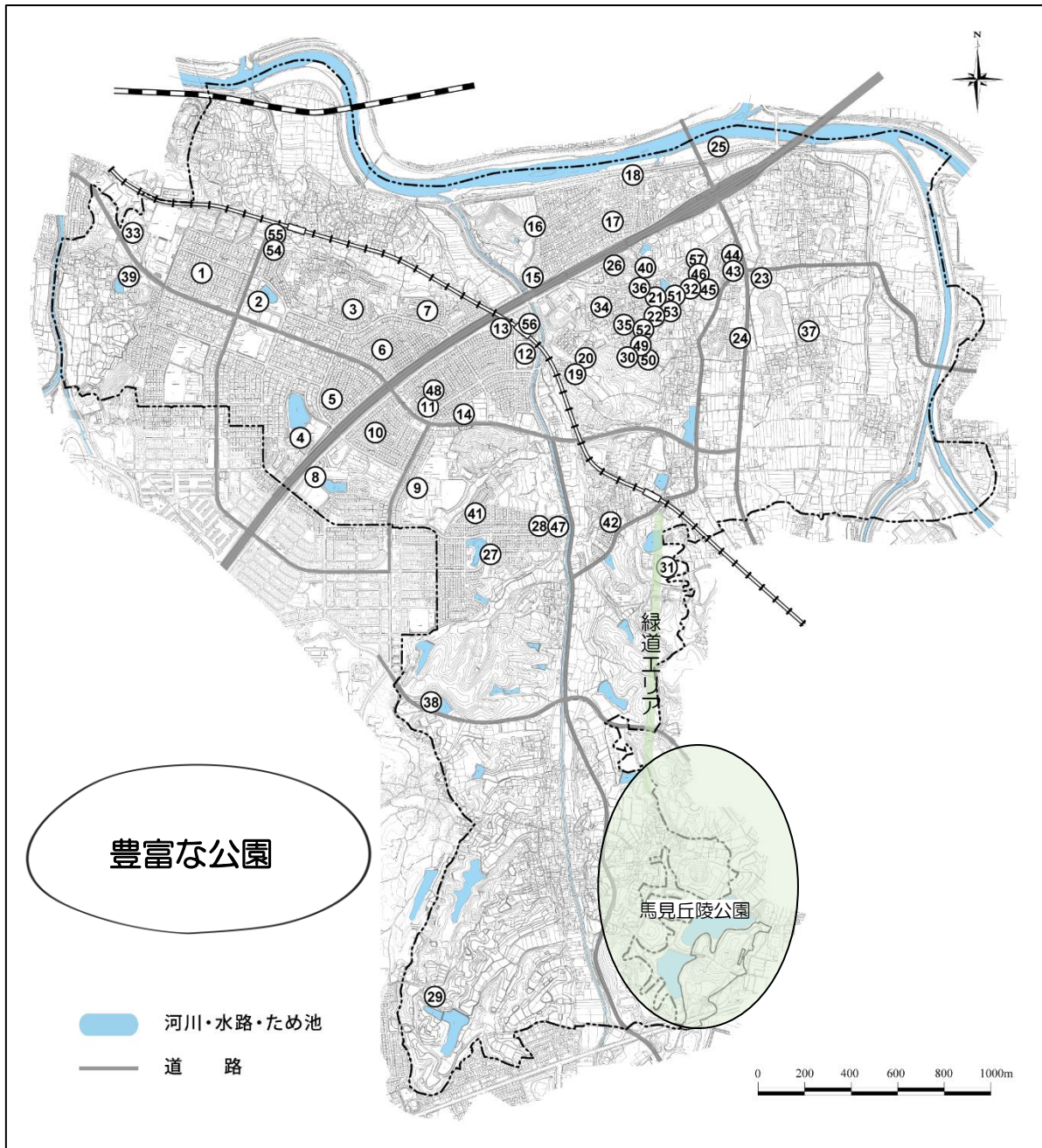
指標項目	基準値	目標値
夢ビジョン事業例	285 事業 (H26)	470 事業 (R2)

(3) 重点施策項目

- ア 街再生総合戦略推進体制① (所管体制)
- イ 街再生総合戦略推進体制② (移住定住促進等相談窓口の設置)
- ウ 街再生総合戦略推進体制③ (ホームページ改修)
- エ 街再生総合戦略推進体制④ (空き家利用促進キャンペーン等)
- オ 街再生総合戦略推進体制⑤ (空き家利用促進：空き家貸します)
- カ 豆山の郷の名称変更 「総合福祉会館(豆山の郷)」→「河合のいえ(豆山の郷)」
- キ SNS を使った情報発信



● 河合町公園緑地分布図



公園一覧

番号	公園名	所在地	番号	公園名	所在地	番号	公園名	所在地	番号	公園名	所在地
1	星和台公園	星和台1丁目13	16	泉台第2公園	泉台2丁目1-365	31	河合町総合スポーツ公園	山坊85	46	シバヤ地区緑地	西六間
2	赤田池公園	広瀬台3丁目7	17	泉台第3公園	泉台3丁目1-516	32	古池児童公園	穴間162-6	47	久美ヶ丘緑地	久美ヶ丘2-30-2
3	向ヶ丘公園	大輪田1198-55	18	泉台第4公園	泉台3丁目1-552	33	葉井北山公園	葉井428-37	48	高塚台緑地	高塚台2-35-1
4	中山田池公園	中山台1丁目16	19	旭団地西側公園	西穴間342-1	34	ゲンジ坂公園	西穴間365-1	49	上ノ山第1緑地	穴間992-10
5	中山台公園	中山台1丁目12	20	旭団地東側公園	西穴間350-3	35	南山西公園	西穴間456-13	50	上ノ山第2緑地	穴間992-11
6	広瀬台公園	広瀬台2丁目9	21	西穴間児童公園(旧)	穴間135-2	36	北山地区児童公園	西穴間377-1	51	古池東緑地	穴間161-6、162-5、164-4
7	月谷公園	広瀬台1丁目9-1	22	西穴間児童公園(新)	穴間135-4	37	城古児童公園	川合1170	52	南山東地区緑地	西穴間460-2 他6筆
8	釘池公園	高塚台1丁目18	23	大塚山児童公園	川合935-6	38	佐味田北公園	佐味田109-1	53	古池南緑地	西穴間3-3 他
9	高塚台公園	高塚台3丁目15	24	大塚台公園	穴間67-21	39	葉井水辺公園	葉井地先	54	駅前ふれあい広場	広瀬台3-9-12
10	高塚台第1公園	高塚台1丁目21	25	大和川河川敷公園	穴間地先	40	奥池児童公園	穴間・西穴間地先	55	大輪田駅前広場	広瀬台3丁目
11	高塚台第2公園	高塚台2丁目35-2	26	西穴間緑地	西穴間217-1	41	彩りの社公園	彩りの社568-200	56	佐味田川駅前広場	穴間470-4
12	高塚台第1緑地	高塚台2丁目1	27	久美ヶ丘中央公園	久美ヶ丘1丁目7-1 7-2	42	緑ヶ丘公園	池部3-751-16	57	高山地区緑地	西穴間29-2
13	高塚台第2緑地	高塚台2丁目2-1	28	久美ヶ丘東公園	久美ヶ丘2丁目16	43	ポケットパーク東側公園	西穴間23-2 23-7			
14	高塚台第3緑地	高塚台2丁目21	29	ほのほの公園	佐味田944	44	ポケットパーク西側公園	西穴間23-1			
15	泉台第1公園	泉台2丁目1-2	30	上ノ山公園	穴間992-5	45	シバヤ地区児童公園	西穴間			



(4) 重点施策概要

ア 街再生総合戦略推進体制①（所管体制）

街再生総合戦略を具体的に進めていくために、庁内の人的配置や所管業務体制の充実を図り、街再生を推進していきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
所管人員	2人（H27）	3人（R2）

イ 街再生総合戦略推進体制②（移住定住促進等相談窓口の設置）

河合町への移住・定住促進の相談窓口を設置し、イベントの実施、情報発信（ホームページ・SNSなど）を行う他、移住・定住のためのサポートを行います。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
移住相談窓口利用者数 （パナソニックホームズ株式会社調べ）	106人（H27）/年	300人（R2）/年



河合町とパナソニックホームズ株式会社との連携

移住・定住のためのサポート



ウ 街再生総合戦略推進体制③（ホームページ改修）

街再生総合戦略の周知と各種の情報交換を図るために、利用しやすく、見やすい町のホームページにしていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
ホームページ年間アクセス数	298,000件（H26）/年	400,000件（R2）/年

エ 街再生総合戦略推進体制④（空き家利用促進キャンペーン等）

転入者の増加や空き家の利活用をさらに促進するために、期間を定めて特別企画を実施し、更なる支援を行います。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
空き家数	338戸（H26）	300戸（R2）

オ 街再生総合戦略推進体制⑤（空き家利用促進：空き家貸します）

未活用の空き家を借り上げ、活用方法を公募し、空き家カフェなど、公募により実施主体を決定し、再貸し出しするなど、利用を促進します。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
事業実施数	—	5事業（R2）



カ 豆山の郷の名称変更 「総合福社会館（豆山の郷）」→「河合のいえ（豆山の郷）」

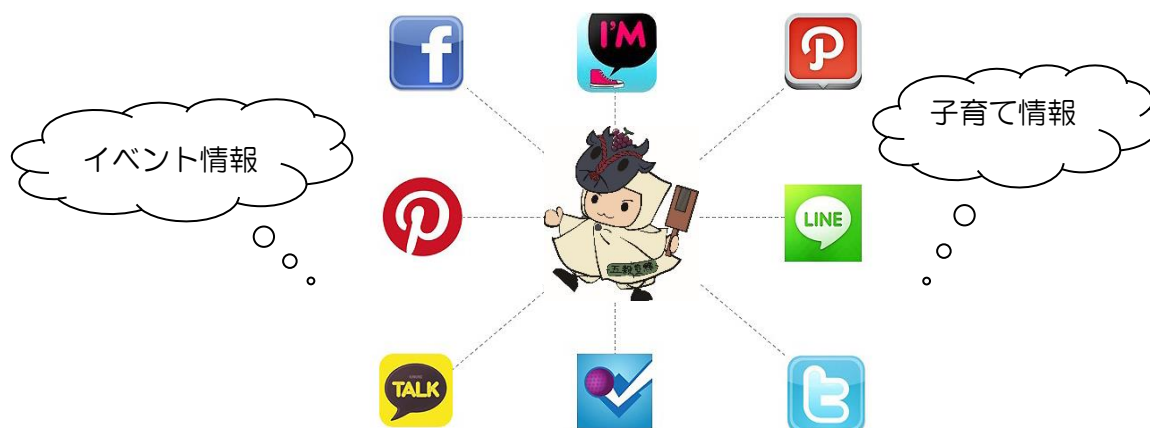
「福祉」の概念に捉われがちな名称である「総合福社会館（豆山の郷）」を親しみやすく、使いやすい名称に変更し、「福祉」の枠を超えた利用を促進していきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
貸館利用率	46%（H26）	55%（R2）

キ SNS を使った情報発信

ネットコミュニティでの交流の場拡大を目指し、子育て情報・イベント情報などをはじめ、移住・定住に関する情報など、SNSを使った双方向型の情報発信ターミナルの整備を進めていきます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値
SNS 登録者数	—	200 人（R2）



（5）その他の施策例

- ア 「そうだ、やっぱり河合で暮らそう！」パンフレットの活用
- イ 住民票等の土日交付
- ウ 新生児へ実用的な「すな丸グッズ」の提供
- エ **パナソニックホームズ株式会社**との連携協定・勉強会による政策の実践
- オ 他市町村と連携した事業展開



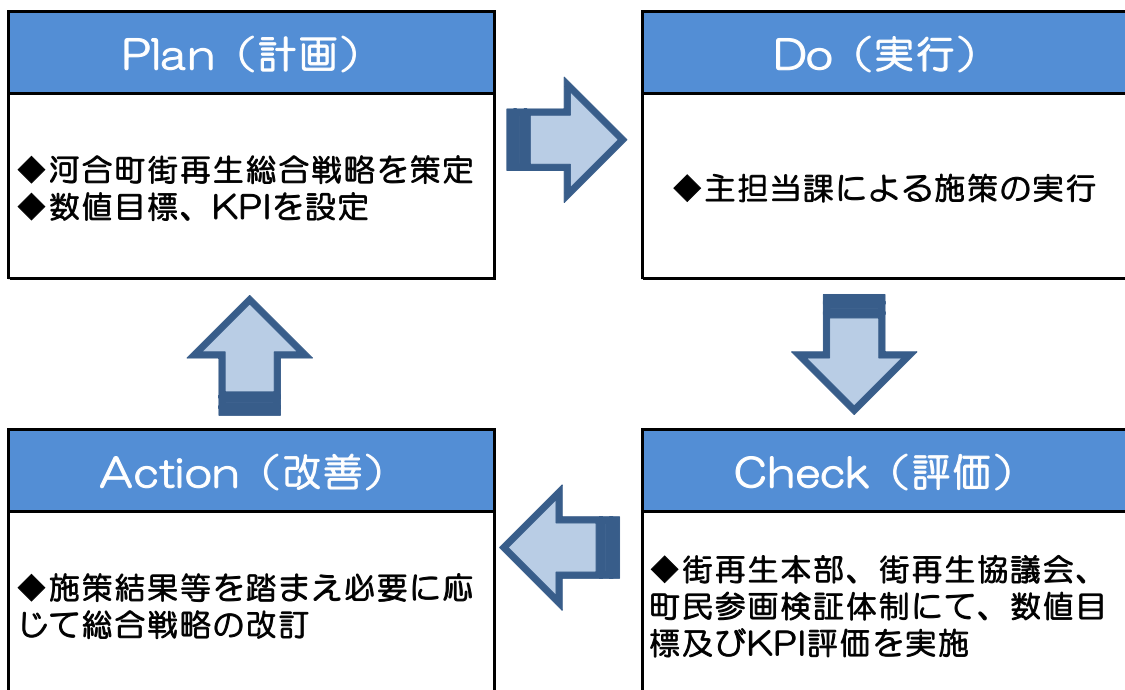
第5章 検証

検証組織による数値目標、重要業績評価指標（KPI）の達成状況検証

以上の5つの目標における数値目標を達成するとともに、高い実効性を確保していくため、戦略の検証体制を整備し、PDCAサイクルを確立します。

戦略の効果検証については、行政の中だけで行うのではなく、街再生協議会における検証のほか、町民が参画する検証体制を設け、数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の達成状況を検証します。その結果を踏まえ、必要に応じて総合戦略の改訂を行います。

このようなPDCAサイクルで検証します



河合町街再生総合戦略

平成 28年 3月

発行 奈良県 河合町

〒636-8501

奈良県北葛城郡河合町池部 1 丁目 1 番 1 号

電話:0745-57-0200(代表)

ファックス:0745-56-4007(代表)

電子メール:kouhokawai@town.kawai.nara.jp